

第4回第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会
令和7年度第1回大野市総合計画・総合戦略推進会議

次第

日時：令和7年6月27日（金）午後7時～

場所：結とぴあ305・306

1 開会

【第一部】 総合計画・総合戦略推進会議 -----

1 会長、副会長の選任

2 推進会議の趣旨説明及びスケジュールについて …資料6，7

3 議事

（1）令和6年度施策の外部評価方法について …資料1

（2）6分野ごとの説明・質疑（ワーキング形式） …資料2，3

【第二部】 後期基本計画策定幹事会（8時10分頃～） -----

1 議事

（1）項目ページ骨子案及びKPI候補案一覧について …資料4，5
（ワーキング形式）

第六次大野市総合計画後期基本計画策定幹事会
委員名簿

No.	選出団体等	役職	氏名	備考
1	福井大学	特命教授	岡崎 英一	幹事長
2	福井工業大学	教授	竹田 周平	副幹事長
3	大野市立保育園保護者連合会	監事	前田 浩鑑	こども・健幸
4	大野市PTA連合会	顧問	尾山 勝也	こども・健幸
5	みらい子育てネット大野	事務局	川田 香菜子	こども・健幸
6	大野市老人クラブ連合会	理事	林 幹雄	こども・健幸
7	社会福祉法人大野市社会福祉協議会	主任	櫻川 みゆき	こども・健幸
8	大野市スポーツ協会	副会長	佐々木 智恵美	こども・健幸
9	福井県農業協同組合大野支店	営農経済課長	斎藤 啓一	経済・くらし
10	九頭竜森林組合	総務課長	保格 浩一	経済・くらし
11	大野商工会議所	総務企画運営課長	嶋田 優子	経済・くらし
12	一般財団法人越前おおの観光ビューロー	副理事長	藤堂 規行	経済・くらし
13	連合福井・福井地域協議会大野地区連絡会	事務局長補佐	竹中 智彦	経済・くらし
14	一般社団法人大野建設業会	事務局長	山川 正秀	経済・くらし
15	大野市消防団女性分団	副分団長	清水 里美	経済・くらし
16	大野市文化協会	副会長	松田 典子	地域づ・行政
17	大野市区長連合会	副会長	齋藤 雅彦	地域づ・行政
18	越前信用金庫	常務理事	佐々木 成充	地域づ・行政
19	一般社団法人大野市医師会	会長	高井 博正	こども・健幸
20	公益社団法人大野青年会議所	専務理事	森田 悠揮	経済・くらし
21	大野市木材組合		竹田 稔	経済・くらし
22	大野男女共同参画ネットワーク		廣瀬 ひとみ	地域づ・行政
23	奥越前まんまるサイト		坂本 道子	地域づ・行政
24	大野市教頭会	会長	澤田 圭司	こども・健幸
25	中野清水を守る会	会長	島田 健一	経済・くらし
26	下庄をよくする会 しもプロ部	会長	竹内 大策	地域づ・行政
27	公募委員		合田 昌範	経済・くらし
28	公募委員		金原 陽子	こども・健幸
29	公募委員		畑 允子	地域づ・行政
30	公募委員		木村 有希	地域づ・行政

+

庁内WG 23名

事務局

No.	所属等	役職	氏名	備考
1	大野市行政経営部	部長	加藤 嘉一	
2	大野市行政経営部政策推進課	課長	小林 勝信	
3	大野市行政経営部政策推進課	課長補佐	廣作 力	
4	大野市行政経営部政策推進課	企画主査	雨山 直人	

大野市総合計画・総合戦略推進会議
委員名簿

No.	選出団体等	役職	氏名	備考
1	福井大学	学部長	岡崎 英一	
2	福井工業大学	教授	竹田 周平	
3	大野市議会	議員	猪嶋 清文	
4	大野市立保育園保護者連合会	会計	橋本 友子	
5	大野市PTA連合会	顧問	尾山 勝也	
6	みらい子育てネット大野	事務局	川田 香菜子	
7	大野市老人クラブ連合会	理事	林 幹雄	
8	社会福祉法人大野市社会福祉協議会	主任	櫻川 みゆき	
9	大野市スポーツ協会	副会長	佐々木 智恵美	
10	福井県農業協同組合大野支店	営農経済課長	斎藤 啓一	
11	九頭竜森林組合	総務課長	保格 浩一	
12	大野商工会議所	総務企画運営課長	嶋田 優子	
13	一般財団法人越前おおの観光ビューロー	副理事長	藤堂 規行	
14	連合福井・福井地域協議会大野地区連絡会	事務局長補佐	竹中 智彦	
15	一般社団法人大野建設業会	事務局長	山川 正秀	
16	大野市消防団女性分団	副分団長	清水 里美	
17	大野市文化協会	副会長	松田 典子	
18	大野市区長連合会	副会長	齋藤 雅彦	
19	越前信用金庫	常務理事	佐々木 成充	
20	奥越前まんまるサイト		坂本 道子	
21	大野記者クラブ	幹事社	石畝 健	

※令和7年度に委嘱、任期は令和7年度末(R8.3.31)までの単年(従前は2年)

第六次大野市総合計画後期基本計画・
第3期大野市総合戦略策定ワーキンググループ
委員名簿

(R7年度)

No	部局等	課室	職名	氏名	専門部会
1	教育委員会	教育総務課	課長補佐	大久保 克紀	こども・ 健幸福祉 部会
2		こども支援課	企画主査	松山 倫也	
3	健幸福祉部	福祉課	課長補佐	小澤 弘幸	
4		健康長寿課	企画主査	藤田 裕子	
5		スポーツ推進課	企画主査	嶋田 奈津江	
6	地域経済部	産業政策課、企業立地推進室、 中部縦貫自動車道整備促進室	課長補佐	水上 勝	地域経済・ くらし環境 部会
7			企画主査	吉村 貴信	
8		観光交流課	企画主査	道鎮 郁生	
9		農業林業振興課	企画主査	松本 成玄	
10	くらし環境部	建設整備課	課長補佐	山内 千晶	
11		交通住宅まちづくり課	企画主査	川島 範彦	
12		環境・水循環課	課長補佐	村中 宏美	
13		上下水道課	企画主査	田中 治樹	
14	消防署	消防本部	課長補佐	羽生 雅則	地域づくり・ 行政経営 部会
15	地域づくり部	地域文化課・住民振興室	課長補佐	清水 宏樹	
16		市民生活・統計課	企画主査	新井 大志	
17		防災防犯課	課長補佐	養老 伸介	
18	教育委員会	生涯学習・文化財保護課	課長補佐	山田 明弘	
19	行政経営部	政策推進課	課長補佐	廣作 力	
20		秘書広報室	室長	竹田 雄次	
21		総務課、契約管理室	企画主査	北村 邦裕	
22		財政経営課	企画主査	亀岡 有紀	
23		税務課	課長補佐	松田 智幸	

大野市総合計画に基づく施策の評価について

1 評価の目的

- ・ 施策の実施状況及び効果の検証を行い、大野市総合計画の着実な推進を図ります。
- ・ 検証結果に応じて実施手法を見直すなど、効率的・効果的な行財政運営を図ります。
- ・ 市民目線の意見を取り入れ、市民ニーズに合った施策展開を図ります。

2 評価の実施主体

大野市が主体となり、外部委員の意見を取り入れながら実施します。

【外部委員】

- ① 大野市総合計画・総合戦略推進会議委員 21名
- ② 施策評価アドバイザー 1名（福井県立大学 経済学部 桑原 美香 教授）

3 評価の対象

第六次大野市総合計画前期基本計画に掲げる24の項目ごとに、68の施策を評価します。（裏面参照）

4 評価の流れ

（1）内部評価（施策評価）

- ・ 市役所内部において、前年度の施策の実施状況及び効果を検証します。
- ・ 「施策評価シート」（全24シート）を用いて行います。

（2）外部評価

- ・ 内部評価を踏まえて、外部委員が指定された施策評価シートについて意見を出し、評価付け（ＡＢＣＤの４段階）を行います。

（3）総合評価

- ・ 内部と外部の評価に相違があった場合、推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考にして、市が総合評価を決定します。

5 日程

- 6月27日（金）：第1回推進会議（内部評価結果の説明）
- ～7月11日（金）：外部委員の外部評価作業
- ～7月下旬：総合評価の決定（推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考）
- 8月初旬：第2回推進会議（総合評価結果の報告）
- 以降～：総合評価結果を踏まえた施策の改善や立案（翌年度に向けて）

6 その他

当評価は、第2期大野市総合戦略及び関係計画に基づく施策の検証を兼ねます。

将来像	基本目標	項目	目指す姿	施策	
人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち	こども 未来を拓く 大野っ子が 健やかに育つまち	1 子育て	安心して結婚・出産・子育てができ、すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち	1-1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します 1-2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します 1-3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します	
		2 学び	子どもたちの誰かが学力や夢に挑戦する力、ふるさとを愛する心を育むまち	2-1 優しく賢くたくましい大野人を育てます 2-2 児童生徒の学習環境を整えます 2-3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます	
	健康福祉 健康で自分らしく 暮らせるまち	3 健康・医療	市民が、自ら健康づくりに取り組み、地域医療体制や感染症対策が整った環境で、健やかで幸せに暮らすまち	3-1 赤ちゃんからお年寄りまで、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりを支援します 3-2 地域医療体制の充実を図ります 3-3 感染症などの予防や対策に取り組む体制を整えます	
		4 地域福祉	市民が、お互いに人格と個性を尊重し、支え合い、助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らすまち	4-1 地域共生社会の実現に向けて取り組みます 4-2 高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します 4-3 障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します	
		5 スポーツ	市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち	5-1 スポーツを楽しむ取り組みを推進します 5-2 競技力の向上を支援します 5-3 子どものスポーツ活動の充実に取り組みます	
	地域経済 歴史・風土と 新たな強みを 生かした 活力あるまち	6 農業	次世代技術を生かした農業の普及が進み、多様な担い手によって、活力ある農山村が引き継がれているまち	6-1 魅力ある農業経営を実現します 6-2 特色ある経営者の自産農林水産物の生産や販売を促進します 6-3 多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します 6-4 農地の適切な整理と有効利用を図ります	施策展開 ■SDGsの推進 ■分野を超えた連携 ■ニューノーマルへの適応とデジタル化の推進
		7 林業	豊かな森林資源を活用した林業により、資源の循環と森林の多面的機能が発揮されたまち	7-1 林産物の生産能力の向上を支援します 7-2 山林を適切に管理します 7-3 林業従事者の確保と育成に取り組みます	
		8 商工業	人の交流や物流が拡大し、多くの店舗や企業が活気に満ちたまち	8-1 事業者の経営課題に対し総合的に支援します 8-2 まちなかのにぎわいを創出します	
		9 観光業	県内外や国外から多くの観光客が訪れ、にぎわい、経済活力にあふれるまち	9-1 魅力ある地域資源を磨き上げ、観光資源として活用します 9-2 観光客の来訪を増やし満足度を高める取り組みを推進します 9-3 観光営業活動の強化と情報発信を充実します	
		10 働く環境	新たな魅力ある企業の立地や市内企業の働きやすい環境整備により、若者や子育て世代をはじめ、市民が生き生きと働くまち	10-1 企業の魅力や生産性、労働環境の向上と、多様な人材の就労を支援します 10-2 企業誘致を進めるとともに新たな産業を育成します	
	くらし環境 豊かな自然の中で 快適に暮らせる まち	11 自然環境・こみ	市民が誇る豊かで美しい自然環境が維持され、循環型社会が形成されたまち	11-1 脱炭素社会の実現に向けて取り組みます 11-2 環境の美化と環境教育を推進します 11-3 こみの減量化と資源化を推進します	
		12 水環境	恵まれた水環境や地域固有の水文化が継承され、人と水との豊かなかがわが実現されたまち	12-1 流域マネジメントを推進します 12-2 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承を推進します 12-3 気象変動や地下水障害への対応に取り組みます 12-4 河川や地下水の水質保全に取り組みます	
		13 生活環境	大野らしい景観が守られ、快適に暮らすことができる生活環境が整ったまち	13-1 景観に配慮したまちをつくらします 13-2 安全で快適な住宅環境を整備します 13-3 上下水道基盤を整備し適切な維持管理を行います	
		14 消防・減災	災害に強い強靱なまちづくりが進み、緊急時の情報伝達や消防・救急の体制が充実したまち	14-1 災害に備えた体制を整備します 14-2 消防・救急体制を強化します	
		15 道路	生活や産業の基盤となる安全な道路と広域ネットワークが整備され、通勤圏や市場が拡大し、交通人口の増加によりにぎわうまち	15-1 幹線道路などの整備を促進します 15-2 雪や災害に強い生活道路を整備、維持します 15-3 健康づくりや低炭素社会の実現などに向けて取り組みます	
		16 公共交通	誰もが利用しやすい公共交通網が整備されたまち	16-1 公共交通の維持とまちづくりへの活用を推進します 16-2 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道県内全線開通、人口減少社会を見据え、地域交通のあり方を検討します	
	地域づくり みんなでつながり 地域が生き生きと 輝くまち	17 ひと・地域	市民が、生涯にわたって主体的に学び、地域づくりに積極的に取り組むまち	17-1 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します 17-2 地域での交流を深め、支え合いを広げます 17-3 地域住民が利用しやすい活動拠点をにつくらします	
		18 防災力・防犯力	地域の防災力・防犯力が高まり、災害や事故に備えた体制が整ったまち	18-1 地域における防災力の充実と強化を図ります 18-2 犯罪や事故を防止します 18-3 空き家などの対策を推進します	
		19 文化芸術	市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち	19-1 文化芸術の振興と継承を推進します 19-2 文化遺産・自然遺産を保護し活用します 19-3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します	
		20 移住定住	「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち	20-1 住まいや仕事の確保を支援します 20-2 地域での受け入れ環境を整えます 20-3 大野の魅力を伝えます	
	行政経営 結のまちを 持続的に支える 自治体経営	21 情報共有	市内外に大野の魅力が発信され、市民に行政情報が正確に伝わり理解され、市民の意見が市政に生かされているまち	21-1 情報発信や情報提供の充実を図ります 21-2 施策などの情報を市民と共有し、市民の意見を市政へ反映します	
		22 協働・連携	自治会や団体、学校、企業、行政など、さまざまな活動主体が、お互いの立場と役割を理解し、協働・連携してまちづくりに取り組むまち	22-1 市民協働のまちづくりを進めます 22-2 他の自治体などとの協働や連携によるまちづくりを進めます	
		23 市民サービス	デジタル化が進む中、誰もが利用しやすい市民サービスが提供されているまち	23-1 申請などの手続きのオンライン化を推進します 23-2 分かりやすく丁寧な市民サービスを提供します	
		24 行財政	計画的で効率的な財政運営と、市民の期待に応えられる人材と組織により、安定した自治体経営が堅持されているまち	24-1 持続可能な財政運営を行います 24-2 次世代を見据えた「シゴト改革」に取り組みます 24-3 人材育成と組織の整備を進めます 24-4 市有財産を適正に管理し、効果的に効率的な活用を図ります	

外部評価作業要領

1 役割分担

- ・ 担当する施策評価シートに対して「評価」と「意見」をお願いします。
- ・ 外部評価は、個人ごとに行っていただきます(グループではありません)。

(1) 大野市総合計画・総合戦略推進会議委員(敬称略)

No.	所属	氏名	担当する施策評価シート
1	福井大学	岡崎 英一	全般
2	大野市立保育園保護者連合会	橋本 友子	●「こども」分野 1 子育て 2 学び
3	大野市PTA連合会	尾山 勝也	
4	みらい子育てネット大野	川田 香菜子	
5	大野市老人クラブ連合会	林 幹雄	●「健康福祉」分野 3 健康・医療 4 地域福祉 5 スポーツ
6	(社福)大野市社会福祉協議会	櫻川 みゆき	
7	大野市スポーツ協会	佐々木智恵美	
8	福井県農業協同組合奥越統括支店	斎藤 啓一	●「地域経済」分野 6 農業 7 林業 8 商工業 9 観光業 10 働く環境
9	九頭竜森林組合	保格 浩一	
10	大野商工会議所	嶋田 優子	
11	(一財)越前おおの観光ビューロー	藤堂 規行	
12	連合福井福井地域協議会大野地区連絡会	竹中 智彦	
13	福井工業大学	竹田 周平	●「くらし環境」分野 11 自然環境・ごみ 12 水環境 13 生活環境 14 消防・減災 15 道路 16 公共交通
14	(一社)大野建設業会	山川 正秀	
15	大野市消防団	清水 里美	
16	大野市区長連合会	齋藤 雅彦	●「地域づくり」分野 17 ひと・地域 18 防災力・防犯力 19 文化芸術 20 移住定住
17	大野市文化協会	松田 典子	
18	奥越前まんまるサイト	坂本 道子	
19	大野市議会	猪嶋 清文	●「行政経営」分野 21 情報共有 22 協働・連携 23 市民サービス 24 行財政
20	大野記者クラブ	石畝 健	
21	越前信用金庫	佐々木 成充	

(2) 施策評価アドバイザー

No.	所属	氏名	担当する施策評価シート
1	福井県立大学	桑原 美香	全般

2 評価様式 別紙「外部評価シート」又は、同WEBフォームによる

3 外部評価シートの記載要領

(1) 評価

- ・ 担当する施策評価シートについて、**ABCD の4段階**で評価をお願いします。
- ・ 担当しない施策評価シートに対する評価は**不要**です。

【評価基準】

- A【順 調】…成果指標を達成し（達成見込みであり）、取組の成果も上がっている（成果が上がることは確実である）。
- B【概ね順調】…成果指標は概ね達成され（達成見込みであり）、取組の成果も上がっていると思うが、課題や問題点も見受けられる。
- C【要改善】…成果指標の達成（達成見込み）は十分といえず、取組の成果を上げるために改善の余地を残している。
- D【見直し】…成果目標の達成（達成見込み）には程遠い状況であり、成果を上げるために抜本的な見直しが必要である。

(2) 意見

- ・ 担当する施策評価シートに各1つ以上の「意見」を記載願います。
- ・ 担当しない施策評価シートに対する意見は任意です。
- ・ 「である調」や「箇条書き」などで簡潔に記載願います。
- ・ 個人的な苦情や要望ではなく、施策に対する全体的な意見をお願いします。
- ・ 意見の過多や重複がある場合は、取りまとめの段階で記載を省略する場合があります。
また、文章の表現を修正する場合があります。

(3) その他

- ・ 市役所の内部評価の基準は、別紙をご参照ください。
- ・ 市の記載内容についてご不明な点やご質問がある場合は、
電話やメール(seisaku@city.fukui-ono.lg.jp)などにて
政策推進課までご連絡をお願いします。

過去の評価結果はこちら



4 提出方法

(1) 郵送（返信用封筒による） 又は持参

(2) 電子メール データ様式が必要な場合、(seisaku@city.fukui-ono.lg.jp)にご連絡ください

(3) WEBフォーム 下記QRコード又はURL(<https://forms.gle/9WULpcCJZDrpMf4K9>)

5 提出期日 7月11日(金)

【問い合わせ先・提出先(市役所2階22番窓口)】

大野市行政経営部政策推進課 廣作、雨山
〒912-8666 大野市天神町 1-1
電話 0779-66-1111(内線 2512) FAX 0779-65-8371
E-mail seisaku@city.fukui-ono.lg.jp

WEBフォームはこちら



施策評価シート【内部評価の基準】

別紙

No. 20

評価課	地域文化課		
関係課	防災防犯課、交通住宅まちづくり課、産業政策課、生涯学習・文化財保護課、政策推進課		
基本目標	地域づくり	みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち	
項目	移住定住	目指す姿	関連するSDGs
		「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち	

①施策の取組状況及び成果

「戦略」欄の※は第2期大野市総合戦略に関連する取組みや成果指標

No.	施策	細区分	取組状況及び成果	戦略	達成度
20-1	住まいや仕事の確保を支援します	①	●関係部局の職員と移住相談の情報を共有しながら、昨年度を上回る年間157件の相談に応じた。 ●移住関心層に本市の移住情報を届け、本市の認知度向上を図ることを目的に、本市に移住した移住者が出演し、生の声を伝えるショート動画を5本作成し、SNSや移住応援サイトで公開し24,129回再生された。 ●令和6年度に市の支援を受けて移住した人は61人(38世帯)で、令和5年度の54人(31世帯)を上回り過去最高となった。 ●空き家情報バンクへの登録を促進するために行う、空き家の家財道具処分への支援に12件、空き家の適正管理に1件の利用があった。 ●空き家の新規登録(過去3年度の登録件数)より令和6年度以前の登録物件も	※	◎
			情報紙「あきや」を配布し、空き家の建物取引士、仲介者を付けた。 ●移住希望者に対する補助金を活用し、移住支援を実施し、兵	※	◎
20-2	地域での暮らし環境を整えます		●移住者が安心して暮らせるよう移住者同士の交流を促すため、市が移住定住支援業務を委託する奥越前まんまるサイトが、刃物研ぎミニ講習会(5月)、古民家巡りサイクリング(9月)の体験交流会を開催し、延べ16組27人が参加し、交流が図られた。	※	◎
			●移住希望者の不安と心配を解消するため、さまざまな移住支援をまとめたパンフレット「大野に来て見て住んで応援パッケージ」を作成し、移住定住サイトや「福井暮らしはたらくサポートセンター」などを通じて情報発信を行い、移住希望者の不安解消につなげた。	※	◎
20-3	大野の魅力を伝えます	①	●Uターンを促進するために、Uターン希望者が市内で就職活動や住居探しをするための交通費等を支援し、13組の利用があった。 ●ふくい嶺北連携中枢都市圏事業で嶺北10市町が作成する「就職支援相互PRリーフレット」に市の移住支援情報や働き方改革認定企業、企業情報誌SEEDについて掲載し、各市町の関係課、施設に配架するとともに、市ホームページでもリーフレットについて広報を行い、情報発信を行った。	※	◎
		②	●移住希望者の不安と心配を解消するため、さまざまな移住支援をまとめたパンフレット「大野に来て見て住んで応援パッケージ」を作成し、移住定住サイトや「福井暮らしはたらくサポートセンター」などを通じて情報発信を行い、移住希望者の不安解消につなげた。	※	○
		③	●大都市圏で大野市の魅力や移住定住施策を発信するため、県が主催する移住フェアや、ふくい嶺北連携中枢都市圏の構成市町が共同で出展する移住フェアに参加し、移住相談に対応した(東京3回、大阪2回、名古屋1回)。	※	◎
その他	その他	その他	●大野市に移住し、市内外の企業へ就業した人や起業した人への支援として、「U・Iターン移住就職等支援金【全国型】」で20世帯、「U・Iターン移住就職等支援金【東京圏型】」で2世帯に補助した。		○

【取組状況及び成果】

- ・施策に関連する取り組みを記載しています。(令和6年度末時点)
- ・この場合、施策20-1「住まいや仕事の確保を支援します」のうち、細区分①「Uターンを希望する人に対し、きめ細かな相談体制を確立します。」に関する取り組みを記載しています。

※「細区分」は番号のみを記載しており、内容はこのシートからは確認できませんので、大野市総合計画の冊子からご確認ください。

【施策の達成度】

施策の達成度を以下の基準で評価しています。

(この場合、22-2の施策の達成度を記載しています。)

(評価基準)

- ◎…計画した以上に進捗したもの、期待した以上の効果を得ることができたもの
- …概ね計画どおり進捗したもの、期待した効果を概ね得ることができたもの
- △…進捗が遅れたもの、期待した効果を得られなかったもの

②成果指標

No.	指標	内容	令和6年度実績	令和7年度目標	戦略
1	定住のための住宅取得等助成件数	定住のための住宅取得及びリフォームに対する助成件数(累計)	61 (累計)	50 (累計)	
2	総人口に対する20～40代人口の割合	総人口に対する20～40代人口の割合	27.6	29.5	※
3	移住相談件数	IJUサポートチームが受けた移住相談件数(累計)	279 (累計)	428 (累計)	585 (累計)

【成果指標】
令和6年度末時点の成果指標の実績を記載しています。

(成果指標の)

1	目標値を周知	【成果指標の検証】 成果指標の令和6年度実績について、達成状況の検証内容(要因分析など)を記載しています。	ため年間の件数は、前年度を下回る結果となった。さらに制度の
2	前年度施策を持		には、子育て支援、雇用の確保、活力ある地域づくりなど、各年代の割合が多く、総人口に対する20～40代の人口の割合を維
3	目標値を既に達成	関係各課で移住相談の情報を共有し、移住相談者に対するきめ細かなサポート、情報提供を行った結果、年間の移住相談件数が前年度を上回った。	

①②を踏まえた内部評価

A

【成果指標の検証】

「①取組状況及び成果」及び「②成果指標」を踏まえた最終の内部評価を記載しています。

(評価基準)

A【順調】

成果指標を達成し(達成見込みであり)、取組の成果も上がっている(成果が上がることは確実である)。

B【概ね順調】

成果指標は概ね達成され(達成見込みであり)、取り組みの成果も上がっていると認められるが、課題や問題点も見受けられる。

C【要改善】

成果指標の達成(達成見込み)は十分といえず、取組の成果を上げるために改善の余地を残している。

D【見直し】

成果目標の達成(達成見込み)には程遠い状況であり、成果を上げるために抜本的な見直しが必要である。

◆ 移住者交流イベント

◆ 地域おこし協力隊活動報告会

◆ 和泉自治会空き家マッチングツアー

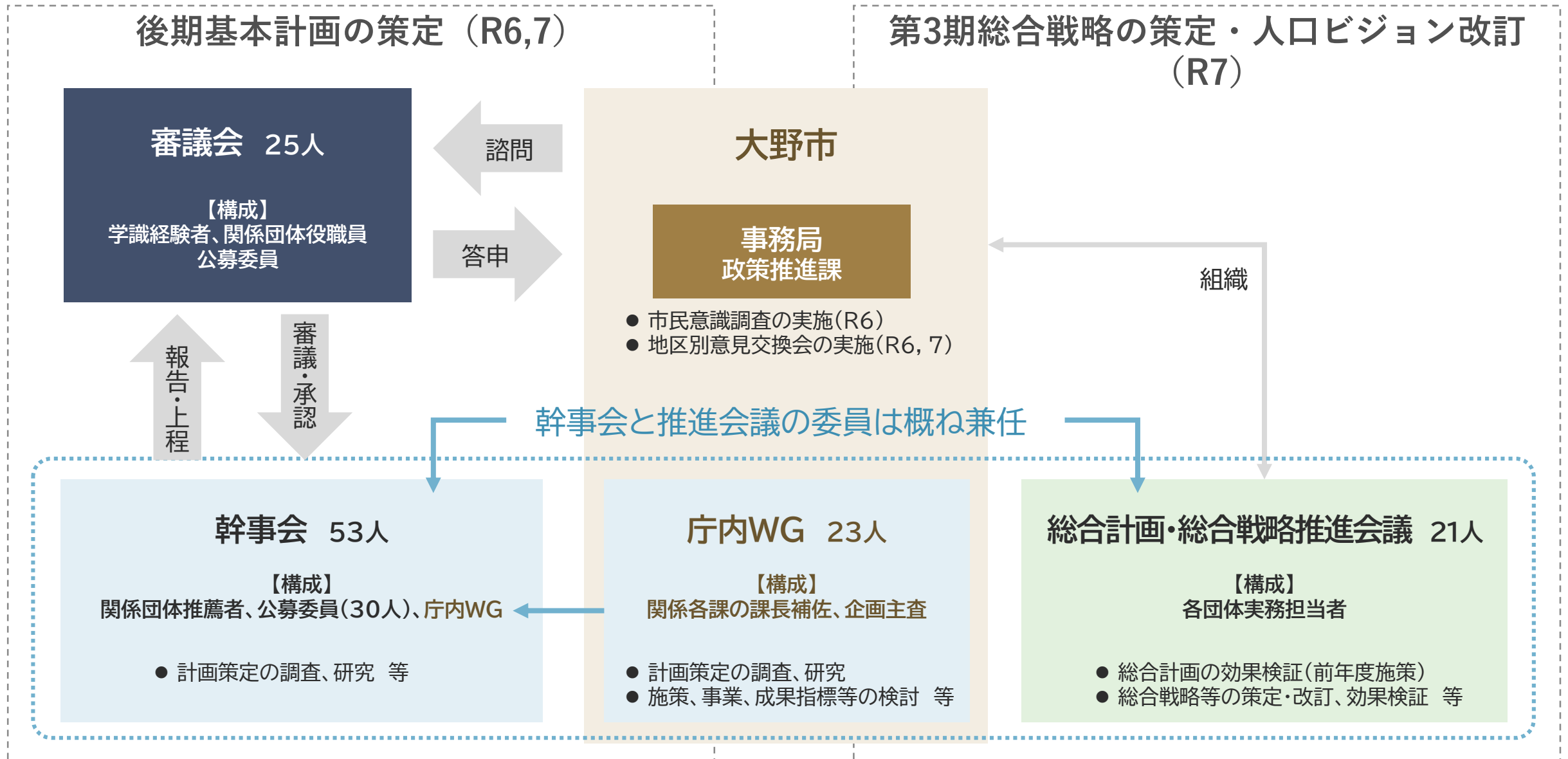
内部評価結果及び成果指標の一覧（令和6年度施策）

資料3

基本 目標	項目	R6施策 内部評価	R5施策 内部評価 (参考)	成果指標	内容	目標値及び実績値				
						令和元年度 現状	【参考】 令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 目標値	単位
こども	1 子育て	B	B	出生率	人口1,000人に対する出生数の割合	4.9	3.6	3.9	5.2	%
				地域の子育て支援拠点となる施設の延べ利用者数	地域子育て支援センター、ちっこ・たっこ、園開放の延べ利用者数	25,835	14,174	11,877	22,820	人
	2 学び	B	B	「学校が楽しい」と回答する児童生徒の割合	児童生徒アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童生徒の割合	小94.0 中89.0	小91.9 中91.2	小91.1 中94.0	小95.5 中91.5	%
健康福祉				子どもの生涯学習事業参加回数	18歳以下の子ども一人当たりの年間生涯学習事業参加回数（生涯学習センター、公民館、図書館主催）	1.41	1.08	1.08	1.45	回
	3 健康・医療	B	B	特定健康診査対象者に対する受診者の割合	国民健康保険加入者で40～74歳の特定健康診査受診率	44.1	38.4	40.4（見込）	60.0	%
				特定保健指導対象者に対する指導修了者の割合	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人に対する保健指導実施率	29.8	27.9	29.8（見込）	60.0	%
	4 地域福祉	B	B	ボランティア登録者数	ボランティアの登録者数	1,293	1,102	1,099	1,350	人
				通いの場の設置数	65歳以上の高齢者が月1回以上活動実績がある通いの場の設置数	83	77	85	90	箇所
				要介護認定率	大野市における要介護認定率	18.7	18.8	19.3	19.4以下	%
				障害者相談支援センターの相談件数	福祉サービスの利用支援などの年間相談件数	3,001	2,115	2,152	3,200	件
スポーツ	5 スポーツ	B	B	スポーツ指導者公認資格の新規取得者数【累計】	スポーツ指導者公認資格の新規取得者数【累計】	0	19	33	40	人
				市民1人当たりの体育施設利用回数	市民1人当たりの体育施設（スポーツ振興担当所管）の利用回数	7.66	7.30	8.25	9.00	回
地域経済	6 農業	A	A	担い手の集積率	担い手が耕作している農地面積の割合	67.9	75.8	80.5	80.0	%
				耕作放棄地の面積	毎年増加傾向にある耕作放棄地の発生抑制	3.0	2.5	2.5	3.6以下	ha
				道の駅年間来場者数	道の駅「越前おおの 荒島の郷」への年間来場者数	0	62.4	66.6	80	万人
	7 林業	B	B	林業作業士数【累計】	林業作業士として農林水産大臣が登録した者	30	37	36	35	人
				森林間伐面積	市有林、私有林の間伐面積	118	78	84	130	ha
	8 商工業	C	B	創業者数【累計】	市の支援策による創業件数【累計】	0	3	3	10	件
				まちなかの観光入込客数	大野市を訪れる観光客の総数のうち、まちなかへの年間入込客数	82.9	56.6	58.0	125.0	万人
	9 観光業	C	B	観光消費額	日帰り観光客1人当たりの消費額	2,945	3,175	3,796	5,000	円
				宿泊者数	延べ宿泊者数（暦年）	86,100	89,400	84,970	130,000	人
				観光入込客数	観光客の延べ人数（暦年）	199	209	214	330	万人
くらし環境				道の駅年間来場者数（再掲）	道の駅「越前おおの 荒島の郷」への年間来場者数	0	62.4	66.6	80	万人
	10 働く環境	B	B	国・県の働き方改革関係制度認定企業数【累計】	市の支援策による国・県の働き方改革関係制度認定企業数【累計】	0	12	16	10	社
				工場新設等に伴う雇用創出数【累計】	企業が大野市民を雇用した数【累計】	0	12	45	50	人
	11 自然環境・ごみ	A	A	水質基準を達成した河川の数	県や市が実施する11河川の水質検査結果において、環境基本計画で設定した水質基準を満たした河川数	11	10	11	11	河川
				1人1日当たりのごみの排出量	市民1人1日当たりのごみ排出量	950	885	847	929以下	g
				ごみの資源化率	ペットボトルや空缶、紙類などの分別収集や集団回収により一般廃棄物を資源化した率	21.9	20.0	20.1	29.4	%
	12 水環境	B	B	保全目標水位に対する超過日数（過去10年の平均）	基準観測井（春日公園）における保全目標水位5.5mを超過した日数の過去10年間の平均値	45	54	56	36以下	日
				地下水質の水道法に定める飲料水水質適合基準との適合率	水質調査した井戸のうち、水道法に定める飲料水水質適合基準に適合した井戸の割合	97.5	97.5	100.0	100	%
				水洗化率	処理区域内の水洗化率	44.1	49.4	49.9	52.4	%
	13 生活環境	B	B	住宅の耐震化率	人が居住している住宅数に対する耐震性を有する住宅数の割合	71.9	76.2	75.9	79.0	%
まちづくり				上水道有収率	給水する水量と料金として収入のあった水量との比率	70.0	62.5	68.6	73.0	%
	14 消防・減災	B	B	消防水利の充足率	消防水利が足りているエリアの割合	58.4	59.6	59.9	65.0	%
				防災メール登録者数	防災メール登録者数	1,471	1,898	1,947	3,000	人
				普通救命講習の受講率	生産年齢人口に対する普通救命講習者の割合	37.0	41.7	43.6	40.0	%
	15 道路	B	B	補修橋梁数【累計】	橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施する橋梁補修数【累計】	0	17	35	41	橋
				消雪施設補修箇所数【累計】	消雪施設修繕計画に基づき実施する補修件数【累計】	0	5	5	6	箇所
	16 公共交通	B	A	大野市内バスの年間乗客数	市内公共交通（まちなか循環バス、乗合タクシー、市営バス、京福バス大戸線）の年間乗客数	24,674	25,994	23,947	30,000	人
				広域路線バスの年間乗客数	広域路線バス（京福バス）の年間乗客数	205,329	172,467	137,524	225,000	人
				JR越美北線の年間乗客数	JR越美北線（全駅）の年間乗客数	336,307	266,583	294,721	346,800	人
	17 ひと・地域	B	A	公民館利用回数	市民一人当たりの年間公民館利用回数（他所で行った公民館事業参加者数を含む）	3.61	3.90	3.86	3.66	回
地域づくり				図書館利用回数	市民1人当たりの年間図書館利用回数	2.98	2.98	2.94	3.2	回
				検討会の開催【累計】	地域課題解決に向けた住民主体の検討会を開催した地区	0	5	6	9	地区
	18 防災力・防犯力	B	B	自主防災組織の活動	結成した自主防災組織の活動割合	20.0	32.0	45.0	100.0	%
				総合防災マップ説明会の開催	総合防災マップ説明会の開催地区割合	2.0	32.2	41.0	100.0	%
				刑法犯認知件数	市内の刑法犯年間件数	77	87	66	70以下	件
				存在する特定空家等の件数	存在する特定空家等の件数	16	14	11	0	件
	19 文化芸術	B	B	公演などの参加人数の割合	人口に対する市が主催および支援する文化公演の年間参加人数の割合	37.5	17.4	30.1	45.0	%
				博物館等における企画展や講座開催数	博物館等における企画展や講座開催数	3	9	9	5	回
	20 移住定住	A	A	定住のための住宅取得等助成件数【累計】	定住のための住宅取得及びリフォームに対する助成件数【累計】	0	50	61	50	件
				総人口に対する20～40代人口の割合	総人口に対する20～40代人口の割合	29.5	28.1	27.6	29.5	%
行政経				移住相談件数【累計】	I・Jサポートチームが受けた移住相談件数【累計】	0	428	585	500	件
	21 情報共有	C	C	市ホームページアクセス件数【累計】	市ホームページにアクセスした延べ件数【累計】	0	3,008,951	3,846,992	5,530,000	件
	22 協働・連携	C	B	検討会の開催【累計】（再掲）	地域課題解決に向けた住民主体の検討会を開催した地区	0	5	6	9	地区
	23 市民サービス	A	A	姉妹都市などとの交流事業参加者数【累計】	姉妹都市等交流事業補助金を活用して行った交流事業の参加者数【累計】	0	29	118	1,300	人
	24 行財政	A	A	電子申請が可能となった行政手続きの件数【累計】	電子申請が可能となった行政手続きの件数	33	164	180	63	件
				財政調整基金残高	年度末の残高	16.4	22.5	22.0	20.0	億円
				将来負担比率	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく比率	48.5	17.0	集計中	45.5	%

「令和6年度実績」「令和5年度実績」欄の「オレンジ色」は令和7年度目標を達成しているもの

後期基本計画等の策定体制（～R7）



第六次大野市総合計画後期基本計画等策定スケジュール

資料7

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会	委員推薦依頼		■6/26 第1回 諮問、会長・副会長選任 策定体制、策定スケジュール							■1/30 第2回 ・市民意識調査の結果報告 ・体系(項目、施策展開の視点等) ・現状と課題の整理		
幹事会	委員推薦依頼			■7/4 第1回 幹事長、副幹事長選任 アンケート調査	■第1回 専門部会 8/20 地域づくり・行政経営 8/22 こども・健幸福祉／地域経済・くらし環境				■12/18 第2回 ・市民意識調査の結果報告 ・体系(項目、施策展開の視点等) ・現状と課題の整理			
推進会議 (総合計画進捗管理、総合戦略・ 人口ビジョン策定)		庁内前年度評価		■7/4 第1回 外部評価	■8/7 第2回 前年度施策評価				■12/18 第3回 ・現年度主要施策の進捗報告 ・人口推移の確認			
庁内WG	委員推薦依頼	■5/21 第1回		■7/16 第2回 ○7/16 職員研修 (人口推計)	■第1回 専門部会 8/20 地域づくり・行政経営 8/22 こども・健幸福祉／地域経済・くらし環境	■9/25,27 第3回	○10/21,23 職員研修 (現状と課題の整理)	■11/25 第4回	■12/26 第5回	■1/10 第6回	■(適宜開催) 施策、成果指標の検討 ■2/14 Well-being研修	
市民アンケート・ 地区別意見交換		設問項目検討		設計	■7/22 入札・契約	印刷	発送9/11 回収9/30	集計・分析	■報告書		地区別意見交換 (各公民館)	3/7 阪谷 3/16 富田 3/19 乾側 3/21 和泉

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会				■7/28 第3回 ・総合計画素案(or骨子案)検討			■第4回 ・総合計画パブコメ案決定		■第5回 ・総合計画案決定 ◇答申			
幹事会	■4/23 第3回 目標、施策、 成果指標検討	■第2回 専門部会 5/14 地域づくり・行政経営 5/26 こども・健幸福祉 5/29 地域経済・くらし環境 目標・施策・みんなができること 検討		■5/27 第4回 ・項目ページ骨子案検討	■8/4 午後7時～(予定) 第5回 ・総合計画素案検討		■第6回 ・計画パブコメ案検討					
推進会議 (総合計画進捗管理、総合戦略・ 人口ビジョン策定)	委員推薦依頼 (任期:1年)	庁内前年度評価 (5/14※)		■5/27 第1回 ・前年度施策評価	■8/4 第2回 ・前年度施策評価 (4年目までの評価総括) ・総合戦略・人口ビジョン検討		■第3回 ・総合戦略パブコメ案決定 ・人口ビジョン案検討			■第4回 総合戦略・人口ビジョン案決定		
庁内WG	■4/3 第7回	■5/21 第8回 ■第2回 専門部会 5/14 地域づくり・行政経営 5/26 こども・健幸福祉 5/29 地域経済・くらし環境	■6/26 第9回				◆部長会議			◆庁議 ・後期基本計画決定 ・総合戦略、人口ビジョン決定		
地区別意見交換・ パブリックコメント	4/16大野① 4/18大野② 4/22大野③	5/9下庄 5/18五箇 5/20小山 5/21上庄							総合計画・総合戦略パブリックコメント(30日)			